



キャッチフレーズ

みんなの笑顔が みんなの健康が なまに (生麦第二地区の愛称) の元気の源

第5期計画で力を入れたいこと

1 住みなれたまちで、みんなの健康と笑顔があふれる暮らしを

具体的な活動

- 1 声かけや挨拶を通じた交流・見守り
(例: 近所付き合い、小学生の登校時の見守り)
- 2 各町内会での活動を通じた繋がりづくりと健康づくり
(例: 地域サロン、高齢者の食事会、子ども向けの活動、ラジオ体操、バス旅行、話し合いの場づくり)
- 3 地域に暮らす誰もが居心地の良さを感じる住みやすい環境づくり
(例: 公園や緑道の清掃・花壇整備、自宅そばやごみ集積場の清掃、分別啓発 等)



健康測定会

2 まもろう みんなで安心して暮らせるまち

具体的な活動

- 1 ひとり1人が防災への意識を高く持ち災害に備える強いまち【自助】
(例: 備蓄品の準備など日頃からの備え)
- 2 災害時、要援護者をはじめ隣近所で見守り、助け合えるまち【共助】
(例: 要援護者を普段から見守る仕組みづくりと必要な情報の共有、「無事タオル」の配布、要援護者の防災訓練の参加、ふれあい防災訪問)
- 3 身近なところから防犯・防災・防火活動の取組みを継続していこう
(例: 【防犯】 特殊詐欺への対応、防犯パトロール、社会を明るくする運動【防災】 防災訓練)



社会を明るくする運動

3 子どもから高齢者までみんながまちのいない手(主役)に…

具体的な活動

- 1 イベントや集まりを通して多世代・多文化で楽しく交流できるまち
(例: 健民運動会、ポッチャ・モルック大会、地域のお祭りへの参加)
- 2 町内会活動の普及啓発と地域活動を次世代にバトンタッチ
(例: 町内会活動のPR、子ども向けの活動を増やす、学校との連携)
- 3 地域情報に関わる情報の『伝達』と『共有』の工夫
(例: 掲示板・回覧板に加え、自治会HP・メール・SNS等のデジタルツールの積極的な活用)



モルック大会



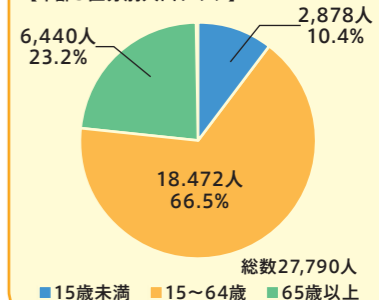
学援隊

出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」(令和7年9月末日現在) ※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。

DATA

国道、線路が地区を横断しています。東寺尾地域は緑地が多く、海側の生麦地域には下町の風情が残り、町ごとに雰囲気の違いがあります。地区の大半は住宅地で、マンションや戸建てが増えていきます。

【年齢3区分別人口グラフ】



第5期計画はこのように取り組みました

- 地区懇談会での意見
【令和6年9～10月】自治会・町内会単位で第4期計画の取組みを振り返り、アンケートを作成【令和6年11月】アンケートを共有
【令和7年1月】あいねっと地区計画意見交換会: 地域の皆さんと、「目標1 住み慣れたまちで、みんなの笑顔あふれる暮らしを」について、「いま取り組んでいること」「今後取り組みたいこと」をテーマに意見交換をしました。
- ひがてらフェアでアンケート実施
令和7年3月 広く地域の皆さんの声を聴くため、「これからの生麦第二地区、どんな町になってほしいですか?」をテーマにアンケートを集めました。
大人は①イベントの充実、②地域のつながり、③住みやすい環境、④コミュニケーションの促進、子どもは①お祭りの開催、②交流の場、③楽しい環境づくり などの意見を多くいただきました!



地区懇談会



ひがてらフェア

これまでの計画(第4期)の振り返り

みんなの笑顔が みんなの健康が なまにの元気の源

- 目標1 住みなれたまちで、みんなの笑顔あふれる暮らしを
- 目標2 まもろう みんなで安心して暮らせるまち
- 目標3 子どもから高齢者までみんながまちのいない手(主役)に

これまでの活動

- ・見守り、声かけ活動 ・ウォーキングやラジオ体操、サロン活動 ・各清掃活動、花壇整備等
- ・防災拠点訓練、防災マニュアル作成 ・要援護者に関する活動 ・各種のイベント
- ・防犯パトロール、社会を明るくする運動 ・子どもの活動の交流・連携 ・情報発信の工夫